

第23回「産業まつり」を開催します！

日の出町では毎年秋に「産業まつり」を開催しています。町内で生産された自慢の農産物や特産品を直売するイベントで、地元商店など会場には約100店舗が立ち並びます。

毎年盛り上がりを見せる一般参加者によるステージショーなど、子どもたちも楽しめる企画を準備しています。皆様のご来場をお待ちしています。

- 開催日** 平成23年11月5日(土)・6日(日) 10時～16時
- 場所** 日の出町民グラウンド(日の出町役場 東側)
- 問い合わせ** 日の出町役場 産業観光課 商工係 ☎042-597-0511(内線245) <http://www.town.hinode.tokyo.jp/>



子どもも大人も家族で楽しめるステージショー。

自分で打つそばの味は格別。

ひので肝要の里 そば打ち体験教室

自然豊かな場所でご夫婦・お友達・親子で楽しみながらおそばを打ってみませんか？ 打ち立て二八そばの試食とお持ち帰りができます。

- 開催日** 平日(要電話予約)
- 参加費** 1名2,500円(材料・容器代等込) ※2～8名様でお申し込みください。
- 開催時間** 10時～13時(変更可能)
- 問い合わせ** 肝要の里 ☎042-597-5290 <http://www.gws.ne.jp/home/kanyou/>

参加者募集



肝要の里はドラマのロケにも使われています。

ブルーベリーや季節の果実を使ったジャムの体験教室もご相談ください

平成23年度 夏休み処分場見学会レポート

「夏休み処分場見学会」を行いました

毎年恒例の「夏休み処分場見学会」を8月5日(金)、19日(金)に実施し、親子を含む140名の方々にご参加いただきました。

両日とも、参加者は多摩地域の清掃工場でごみ処理の様子を見たあと、二ツ塚処分場を訪れました。エコセメント化施設と不燃ごみ埋立区域などを見学したあと、埋立を終了した谷戸沢処分場に移動し、環境指導員の案内で谷戸沢記念館や場内の様子を見学しました。エコセメント化施設では興味津々に見入ったり、谷戸沢処分場で虫を追ったり、子どもも大人ものびのびとした時間を過ごしました。



説明に熱心に耳を傾けながら、「ごみのゆくえ」を追う参加者の皆さん。



参加された方々からアンケートに以下のような声がありました。

- ≫ エコセメント化によって限りある処分場をより長く使用する工夫はすごい。【府中市・39歳】
- ≫ 説明がわかりやすかった。処分場が長持ちするように気をつけたい。【立川市・13歳】
- ≫ 灰からセメントができるなんてびっくり。谷戸沢には緑がいっぱいでした。【八王子市・9歳】
- ≫ 多摩地域の取り組みにごみの出発点である我々が協力しなくてはと実感。【日野市・66歳】
- ≫ 子どもの理解を深められてよかった。近隣の皆さんにも感謝したいです。【小金井市・44歳】
- ≫ ごみのリサイクルがとても大切なことがわかって勉強になりました。【東村山市・10歳】
- ≫ ごみのゆくえや埋立後の管理など、参加しなくてはわからないことだった。【小平市・28歳】

循環組合の動き

平成23年	
3月17日(木)	第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
3月23日(水)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
3月29日(火)	環境データ公表(平成22年度第3四半期分)
6月3日(金)	第25回循環組合技術委員会
6月17日(金)	第29回環境保全調査委員会
6月23日(木)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
6月30日(木)	第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
7月7日(木)	環境データ公表(平成22年度分) 環境報告書2011公表
7月28日(木)	平成23年第1回組合議会臨時会
8月17日(水)	第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
9月7日(水)	第35回谷戸沢処分場環境影響評価委員会

参加者募集 家族で楽しむマス釣り 好評「魚のつかみ取り」も！

日時	平成23年10月30日(日) 11時～15時(雨天決行)
会場	①秋川国際マス釣り場(あきる野市養沢) ②自然休養村さかな園(日の出町) ③神戸国際ます釣場(檜原村) ※JR武蔵五日市駅から無料送迎バスあり
内容	マス釣り、魚のつかみ取りなど、家族を対象としたイベントです。 ※軽食付き(豚汁、カレーライス、飲み物)
定員	600人(会場①300人、会場②200人、会場③100人)
費用	大人1,000円、子ども(中学生以下)500円

申込み方法 はがきに住所、氏名、電話番号、参加家族人数(大人、子ども)、利用交通機関(電車・自家用車)、マス釣り体験人数(大人、子ども)、希望会場(第1希望から第3希望まで)を記入して申し込み(10月7日(金)必着)
※申し込み多数の場合は抽選となります。また、会場ご希望に添えない場合があります。

申し込み先 〒190-0164 あきる野市養沢1311 秋川漁業協同組合 ☎042-596-2215

東京たま広域資源循環組合
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
循環組合組織団体 循環組合は組織団体からの負担金で運営されています
八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町

【たまエコニュース】の内容やごみ処理に関するお考えなど、皆さまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。また、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 東京たま広域資源循環組合【たまエコニュース】係 [メールアドレス] sjkumiai@tama-junkankumiai.com

<http://www.tama-junkankumiai.com/>

●多摩400万人のごみ情報誌
地域とともに 自然とともに

ニュース

発行:東京たま広域資源循環組合
【事務局】〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
TEL.042-385-5947 FAX.042-384-8449
<http://www.tama-junkankumiai.com/>

今日からできる、ごみ減量

多摩地域の住民一人ひとりが毎日少しずつごみを減量したら1年間のごみの量をいまよりもっと減らせます。日ごろから3Rを意識して循環型社会を実現させましょう。

詰め替えができる商品を選ぶ
洗剤やシャンプーは中身を詰め替え、容器を繰り返し使しましょう。
-50g

びん・缶・ペットボトルは捨てずにリサイクル
資源ごみはルールを守った分別を行い、資源としてリサイクルしましょう。
350ml アルミ缶 -20g
500ml ペットボトル -40g

家庭ごみ減量のカギは生ごみの水分
家庭から出る可燃ごみの30%以上を占める生ごみ。その80%は水分です。この水分を絞るだけで、ごみを半分近く減量することができます。野菜の皮や使用済みの茶葉などは、ザルに並べて水がかからないところに置いて水を切りましょう。
100gあたり -80g

買い物のときにレジ袋をもらわない
買い物にはエコバッグを持参して、不要なレジ袋の消費を減らしましょう。
-10g

※3R=Reduce(ごみを減らす) Reuse(繰り返し使う) Recycle(資源として再利用する)

放射性物質の測定を行いました

7月、都内の各市町村は清掃工場の焼却灰に含まれる放射性物質の濃度と空間放射線量の測定を行いました。エコセメント化施設に搬入している15清掃工場と、二ツ塚処分場・エコセメント化施設の測定結果は表のとおりです。循環組合は、8月19日に日の出町と特別協定を結び、国の新たな方針が示されるまでの間、8,000Bq/Kg以下の焼却灰をエコセメント化施設で受け入れることができることといたしました。測定も月に1回行います。 ※23区を含めたすべての清掃工場・最終処分場の測定結果は東京都のホームページで公開されています。

組織団体15清掃工場			二ツ塚処分場			エコセメント化施設						
放射性セシウム濃度			放射性セシウム濃度			放射性セシウム濃度						
	最小値	平均値	最大値		最小値	平均値	最大値		最小値	平均値	最大値	
主灰	185	282	448	浸出水原水	不検出	Bq/Kg	ゲート前	0.11	μSv/時	乾燥機等排ガス	不検出	Bq/m ³ N
飛灰固化物	275	1,760	3,409	下水道への放流水	不検出	Bq/Kg	管理センター東	0.09	μSv/時	焼成炉排ガス	不検出	Bq/m ³ N
飛灰	1,199	1,814	2,470	地下水集排水管水	不検出	Bq/Kg	第1-1区画堤南側外周道路	0.10	μSv/時	金属回収汚泥	50	Bq/Kg
	単位: Bq/Kg			防災調整池水	不検出	Bq/Kg	防災調整池近傍	0.09	μSv/時	下水道放流水	678	Bq/Kg
	単位: Bq/Kg						馬引沢峠近傍	0.10	μSv/時	エコセメント(製品)	不検出	Bq/Kg
	単位: μSv/時						不燃物埋立エリア	0.10	μSv/時			



次のページでは、佐藤弘道さんがごみの減量について紹介します。

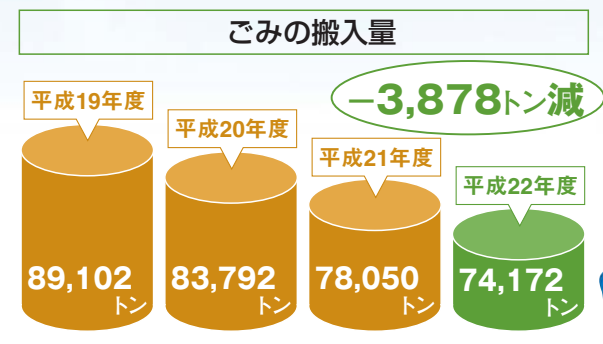
みんなでやればパワー全開!

こんなにごみが減りました!



平成22年度のニッ塚処分場への搬入量(可燃ごみの焼却灰+不燃ごみ)は、前年度に比べて約5%減少しました。

多摩地域25市1町の皆さんによるごみ減量対策は、今年も大きな効果をあげました。これからも、一人ひとりの皆さんに、ごみ減量の大切さを知って対策を実行していただけるように、「家族を大切にするように、地球も大切にしよう!」と語る弘道お兄さんが、ごみ減量の最新事情を紹介します。



約-28,000トン

組織団体	人口(人) 平成22年10月1日現在	搬入量(トン)
八王子市	563,253	9,572
立川市	178,561	5,203
武蔵野市	138,294	3,214
三鷹市	179,811	1,712
青梅市	139,932	2,653
府中市	251,396	1,802
昭島市	113,697	2,142
調布市	221,441	2,688
町田市	424,669	8,396
小金井市	115,351	1,147
小平市	184,216	4,709
日野市	177,700	3,846
東村山市	153,278	2,939
国分寺市	117,773	2,291
国立市	74,623	689
福生市	60,149	1,201
狛江市	77,142	650
東大和市	83,928	2,105
清瀬市	74,055	1,735
東久留米市	116,785	3,038
武蔵村山市	71,611	1,881
多摩市	147,592	3,732
稲城市	84,442	794
羽村市	57,746	1,066
西東京市	195,305	4,202
瑞穂町	34,277	765
合計	4,037,027人	74,172トン

各市や町でいろいろな取り組みをして、ごみを減らすようがんばっているね。努力の結果が表れているよ。

データが語る 多摩地域は「リサイクル名人」

平成22年度、多摩地域25市1町で出されたごみは前年度に比べて約28,000トンも減少しました。ごみが減ったなかで、資源ごみは約8,000トンも増えました。これは、皆さんがごみの減量と資源となるごみのリサイクル化に積極的に取り組んだ結果といえます。これにともない多摩地域全体の資源化率は37.6%と昨年より上昇し、全国平均(20.5%：平成21年度)を10ポイント以上上回り、例年同様全国トップクラスを維持しています。

ユニークな取り組みに 住民も楽しみながら参加

各自治体でも、ごみ減量のためにさまざまな取り組みを行っています。三鷹市の「おもちゃの病院」や多摩市の「ごみ減量出前説明会」など、各地域ではごみ削減に関するさまざまな企画を実施しています。また、各地で行われているフリーマーケットはリサイクルの推進に大きく役立っています。このほかにも環境に関するイベントを開催し環境やごみ問題を考える機会を作っています。



プロフィール
佐藤弘道さん (さとうひろみち)
NHK「おかあさんといっしょ」第10代目体操のお兄さんを12年間務め、現在は親子体操教室主宰、タレント。

リバウンドさせない、ごみダイエットと3R

減量に成功したごみダイエットも、油断するとリバウンドしてしまいます。ごみを作らない、ごみにしない3Rの考え方をよく理解して、日ごろからコツコツと少しずつでもごみ削減を心がけましょう。住民の皆さんのますますのご協力をお願いいたします。

25市1町の総量比較

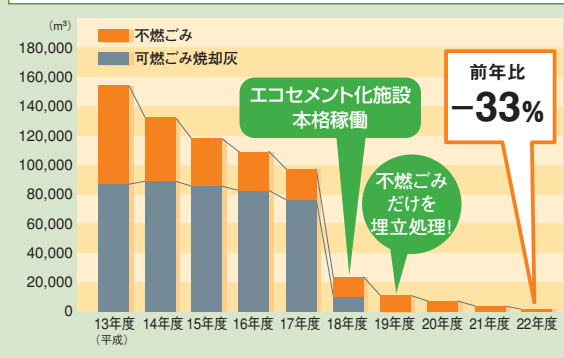
	平成21年度	平成22年度	前年度比較
人口(人)	4,021,218	4,037,027	+15,809
可燃(トン)	765,141	738,527	-26,614
不燃(トン)	88,006	77,954	-10,052
資源(トン)	234,901	243,229	+8,328
粗大(トン)	26,795	26,758	-37
有害(トン)	1,613	1,616	+3
合計	1,116,456トン	1,088,084トン	-28,372トン

出典：「多摩地域ごみ実態調査平成22年度統計」財団法人東京市町村自治調査会

埋立量がマイナス33%! 順調に進むごみ減量

平成22年度、ニッ塚処分場に埋め立てられた不燃ごみは約2千9百m³で、21年度と比べて33%減りました。皆さんのごみの減量や分別へのご協力の成果です。ごみの減量や分別が進むと、物を資源として再利用することで無駄がなくなります。また、ごみ処理にかかる費用が節約できます。さらに、最終処分場の埋立量も減らすことができ、大切な処分場を長く使い続けることができるのです。

ニッ塚処分場の埋立量の推移



環境保全

ニッ塚処分場に植樹するためのポット苗を育てます

循環組合では、豊かな自然環境を創り出すため、ニッ塚処分場内の4割にあたる緑地を広葉樹も茂る多種混交林への転換を進めており、平成19年度からは小学生によるポット苗の育成・植樹を行っています。

7月19日、今年度から事業をはじめ小平市立小平第十四小学校の5年生が処分場を見学に訪れました。子どもたちは興味深そうに処分場を見学していました。今後、種子を拾い、ポット苗を育てて卒業時に植樹します。

7月19日、小平市立小平第十四小学校5年生の2クラス合計67名が参加。

自然回復

オオムラサキを放蝶しました

7月9日、処分場内で育ったオオムラサキ放蝶会が行われました。迫力ある羽音とともに、美しい羽根を広げていっせいに飛び立つ約100頭のオオムラサキの様子に、参加者全員から歓声が上がりました。放蝶会後の自然観察中に、放ったオオムラサキに山道で再会するという、うれしいできごともありました。

立派な羽根を持つオオムラサキも、肩や手にとまる姿は愛らしい。

エコセメント事業

いろいろな場所で使われているエコセメント製品

可燃ごみ焼却灰を原料としたエコセメントを使用したコンクリート製品は、研究・開発が順調に進み、最近では、東京港に建設中の「東京ゲートブリッジ」(今年度開通予定)の歩道境界コンクリートブロックをはじめ、遊園地や大学、駅前広場、空港構内の道路など、多くの公共の場所に利用されています。

八王子駅南口駅前広場の歩道ブロックにも。

環境報告書2011を公表

循環組合では、平成22年度に環境保全に向けて取り組んだ内容や成果を「環境報告書2011」としてまとめました。ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

東京行き交う船舶の表玄関となる「東京ゲートブリッジ」は、東京の新たなランドマークとして注目を集めています。

東京たまエコセメント製品にはエコタワーが刻印されています。